

## 要請番号 (JL52423A15)

募集終了

4

異文化理解を  
促進する

| 国名   | 職種コード 職種  | 年齢制限         | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次                                   |
|------|-----------|--------------|------|----|------|----------------------------------------|
| マラウイ | G158 理科教育 | 20～45<br>歳のみ | 個別   | 新規 | 2年   | ・ 2023/4 ・ 2024/1 ・<br>2024/2 ・ 2024/3 |

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名（日本語）

教育省

## 2) 配属機関名（日本語）

チンクティ中高等学校

## 3) 任地（ドーワ県ルンバジ） JICA事務所の所在地（リロングウェ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで 約 0.5 時間）

## 4) 配属機関の規模・事業内容

日本の中学3年生から高校3年生に相当する4年制、男女共学の中高等学校。生徒総数は約1,100名。

教員数および教室数の不足から、生徒は午前の部と午後の部に分けられて授業を行っている。

首都近郊の村落に位置している。

JICAが実施する草の根技術協力「マラウイにおける教師の専門職学習コミュニティネットワークの構築プロジェクト」におけるパイロット校の一つとなっており、双方の意向次第では連携した活動を行うことも考えられる。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

マラウイでは若年層の爆発的な人口増加や初等教育の無償化などを背景に、生徒数に対しての教職員数が不足している。教員数を増やして行く過程では、高い知識を持った人材のみを選抜することは難しく、教科に対する知識が十分であるとは言えない教員も散見される。

また、理科教育においては実験に必要な設備や資材の不足から、教員自身が学生の時には実験を行っていないことが少なくないため、教員達に実験や観察を行う授業についての知見が不足している。

そこで、実験を用いた授業の実施や、そうした授業を同僚教員が行う為の支援が期待され、今回の要請に至った。

## 2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

1. 配属校において、物理・化学・生物のうちいずれか(または複数)の教科指導を担当する。(日本の中学3年生から高校2年生レベル)

2. 実験や観察を積極的に取り入れた授業の方法を支援する。

3. 同僚に対して、授業の改善を目的とした助言や支援を行う。

4. また可能であれば数学の授業も担当する。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

理科実験室、基本的な実験器具

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

校長 50代男性

同僚教員 約30名

内理科教員 10名

生徒数 約1,100名

## 5) 活動使用言語

英語

## 6) 生活使用言語

その他

## 7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

### 【資格条件等】

[免許]：(中学校又は高等学校教諭(理科))

[学歴]：(大卒) 備考：中高教員は大卒が資格要件の為

[性別]：( ) 備考：

[経験]：(実務経験)2年以上 備考：同僚教員への助言も行うため

[汎用経験]：

- ・理科実験の経験や薬品・器具の知識

[参考情報]：

- ・物理、化学、生物のいずれかを教えた経験

### 任地での乗物利用の必要性

不要

### 【地域概況】

[気候]：(温暖冬季少雨気候) 気温：(10～30℃位) [電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水道]：(不安定)

### 【特記事項】

生活の中で現地語(チェワ語)が必要となる場合があるため、赴任後の現地語学訓練で学習する。